



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 積水樹脂株式会社

上場取引所 東

コード番号 4212 URL <http://www.sekisuijushi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 彌一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菊池 友幸

TEL 06-6365-3204

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	47,285	9.3	6,103	13.9	6,197	9.2	3,724	11.0
25年3月期第3四半期	43,281	2.8	5,358	2.3	5,673	8.4	3,356	12.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,045百万円 (48.5%) 25年3月期第3四半期 3,397百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	83.83	—
25年3月期第3四半期	75.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	96,412		69,538			71.2
25年3月期	95,778		65,847			67.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 68,663百万円 25年3月期 65,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	15.00	26.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円 特別配当4円
 26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当13円 創立60周年記念配当2円
 26年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当13円 創立60周年記念配当2円

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.1	9,650	10.6	9,750	6.7	5,900	9.1	132.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	47,313,598 株	25年3月期	47,313,598 株
26年3月期3Q	2,884,152 株	25年3月期	2,876,053 株
26年3月期3Q	44,432,380 株	25年3月期3Q	44,435,970 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策に伴う公共投資の増加に加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等を背景に企業業績、個人消費に改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境下において、当社グループは、昨年11月に2016年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画「JEX-2016 (Jushi-Expansion2016)」を策定し、「シェアNO.1戦略」「グローバル戦略」「新事業戦略」「M&A・アライアンス戦略」の4つの戦略を基軸として推進しております。国内におきましては、政府の緊急経済対策における「復興・防災対策」や「暮らしの安心の確保」などの取り組みに向けた新製品開発に注力するとともに、売上拡大策を実施してまいりました。また、2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催決定に伴い、今後の環境整備への提案活動を推進するためのプロジェクトを発足させるなど、市場環境の変化にスピードを持って対応すべく組織体制の見直しを行ってまいりました。一方、海外におきましては、経済成長著しい東南アジア市場においてアルミ樹脂積層複合板事業の展開をはかるため、9月にタイ王国においてセキスイジェシプラメタル(タイランド)Co.,Ltd.を設立しましたほか、10月にはドイツで開催された世界最大規模の「国際プラスチック・ゴム専門見本市(K2013)」へ初出展を行い、プラスチックと金属の複合成型技術を世界に発信するなど東南アジア及び欧州における事業拡大に向けた基盤づくりを進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は472億8千5百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は61億3百万円(前年同期比13.9%増)、経常利益は61億9千7百万円(前年同期比9.2%増)、四半期純利益は37億2千4百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

①都市環境関連事業分野

防音壁は、アルミ枠透明板の高い遮音性能と耐振動性能が評価され、北陸新幹線の金沢・長野間に採用されましたほか、トンネル吸音内装板が国土交通省によるトンネル緊急点検に伴う補修物件の増加を受け堅調な成績を収めました。交通安全製品は、車線分離標「ポールコーン」が生活道路の交通安全対策として採用されるなど売上を伸ばしましたものの、太陽電池式LED表示板の受注減少の影響等により前年同期並みに推移しました。路面標示材は、通学路の安全対策や大規模自転車道などにカラーラインが採用され順調な伸びを示し、また、ドライバーの視覚効果により車を減速させる効果のある貼付式路面標示材「ソリッドシート」が好評を博し各地で採用されました。人工芝は、「ドリームターフ」の安全性・温度上昇抑制機能が評価され学校グラウンドやサッカー場、ラグビー場向けに好調に推移しました。人工木材は、住宅着工数の増加や住宅リフォーム市場の拡大を背景に耐候性・耐久性に優れた「スーパーオレンジウッド」が、新製品の上市ともあいまって順調な伸びを示しましたほか、「角型テnderウッド」がビルの外装材として採用されるなど好調な成績を収めました。

この結果、都市環境関連事業の売上高は133億3千4百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は18億9千9百万円(前年同期比13.5%増)となりました。

②街路・住建関連事業分野

歩行者用防護柵は、公共工事の発注増加を背景に「フレックスロープ」が、歩行者の転落防止などの安全対策に採用され大きく売上伸長しましたほか、天然木に近い風合いを持つ擬木柵「テnderウッド」が周囲の景観にマッチする製品として公園・河川整備などで採用され好調に推移しました。高欄は、橋梁の長寿命化のための補修工事に「ビューレイル」の施工性が評価され好調な成績を収めました。また、ソーラー照明灯が災害時の緊急避難路整備事業等に採用され大きく売上を伸ばしました。メッシュフェンスとめかくし塀は、マンションや商業施設などの着工数増加を背景に、デザイン性や施工性に優れた製品の品揃え強化が市場に認知され大幅な売上増となりましたほか、自転車置場製品が、民間集合住宅向けに好評を博しました。メタカラー建材は、大型商業施設や外食チェーン店等への販路拡大を積極的に推進しましたが、装飾建材需要の減少により前年同期を下回る成績に終わりました。アルミ樹脂積層複合板は、ビルの建替需要の増加に伴い、防音パネル「ビルガード」が優れた軽量性・耐久性を評価され好調な伸びを示しました。

この結果、街路・住建関連事業の売上高は193億6千3百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益は33億3千4百万円(前年同期比29.3%増)となりました。

③産業・生活関連事業分野

包材関連製品は、円安による原材料価格の高騰や海外生産品のコストアップの影響を受け厳しい状況下で推移しました。デジタルピッキングシステム製品は、顧客ニーズにマッチした製品開発にあわせ、積極的な提案営業が功を奏し、国内はもとより米国等への輸出が好調な伸びを示しました。また、組立システムパイプ製品は、自動車関連メーカーなどの設備投資増加を背景に、製品の品揃え強化や新規販売ルートの開拓により堅調な成績を収めました。タイ王国における自動車部品関連製品は、生産台数増加を背景に売上を伸ばしました。生活関連製品は、インターネット通販などの成長市場への販路拡大を推進しましたものの、ホームセンター等の既存ルートにおける厳しい価格競争の影響により売上減を余儀なくされました。緑関連製品は、農家を取り巻く厳しい環境の影響により需要が低迷し前年同期を下回る成績に終わりました。

この結果、産業・生活関連事業の売上高は145億6千6百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は13億6千7百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

④その他事業

保険手数料収入は前年同期並みに推移し、売上高は2千1百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1千万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ6億3千4百万円増加し、964億1千2百万円となりました。主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ30億5千7百万円減少し、268億7千3百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ36億9千1百万円増加し、695億3千8百万円となりました。主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。純資産から少数株主持分を控除した自己資本は686億6千3百万円となり、自己資本比率は71.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億1千1百万円増加（3.0%増）し、206億5千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益61億6千5百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、仕入債務の減少及び法人税等の支払を行った結果、45億4千万円の収入となりました（前年同期は55億6千6百万円の収入）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により27億3千5百万円の支出となりました（前年同期は38億9千1百万円の支出）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により13億5千万円の支出となりました（前年同期は11億6千9百万円の支出）。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月25日に公表しました「平成26年3月期 第2四半期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,043	22,654
受取手形及び売掛金	28,256	24,130
商品及び製品	3,170	3,591
仕掛品	980	1,175
原材料及び貯蔵品	2,840	3,316
その他	3,174	3,213
貸倒引当金	△37	△31
流動資産合計	59,427	58,051
固定資産		
有形固定資産	15,561	15,659
無形固定資産	510	481
投資その他の資産		
投資有価証券	9,033	10,442
その他	11,431	11,947
貸倒引当金	△186	△170
投資その他の資産合計	20,278	22,219
固定資産合計	36,350	38,361
資産合計	95,778	96,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,726	15,104
短期借入金	2,150	2,150
未払法人税等	2,286	1,291
引当金	740	517
その他	4,507	4,407
流動負債合計	26,411	23,471
固定負債		
退職給付引当金	3,275	3,142
役員退職慰労引当金	30	33
その他	214	226
固定負債合計	3,519	3,401
負債合計	29,930	26,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,189	13,189
利益剰余金	41,368	43,757
自己株式	△1,943	△1,954
株主資本合計	64,948	67,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	598	1,452
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△484	△117
その他の包括利益累計額合計	114	1,335
少数株主持分	784	875
純資産合計	65,847	69,538
負債純資産合計	95,778	96,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	43,281	47,285
売上原価	30,178	33,313
売上総利益	13,103	13,972
販売費及び一般管理費	7,744	7,869
営業利益	5,358	6,103
営業外収益		
受取利息	58	67
受取配当金	82	106
その他	323	109
営業外収益合計	463	283
営業外費用		
支払利息	119	122
その他	28	65
営業外費用合計	148	188
経常利益	5,673	6,197
特別損失		
固定資産除売却損	17	25
減損損失	91	6
投資有価証券評価損	36	—
特別損失合計	145	32
税金等調整前四半期純利益	5,528	6,165
法人税等	2,092	2,350
少数株主損益調整前四半期純利益	3,436	3,815
少数株主利益	80	91
四半期純利益	3,356	3,724

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,436	3,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	850
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△13	374
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	3
その他の包括利益合計	△38	1,229
四半期包括利益	3,397	5,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,316	4,946
少数株主に係る四半期包括利益	81	99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,528	6,165
減価償却費	910	867
減損損失	91	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△248	△185
売上債権の増減額 (△は増加)	6,918	4,234
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,182	△1,019
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,524	△1,772
その他	△867	△515
小計	8,624	7,782
利息及び配当金の受取額	138	169
利息の支払額	△113	△115
法人税等の支払額	△3,082	△3,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,566	4,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△601	△767
投資有価証券の取得による支出	△83	△2
短期貸付金の増減額 (△は増加)	250	107
長期性預金の預入れによる支出	△3,000	△3,000
長期性預金の払戻による収入	—	1,000
その他	△556	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,891	△2,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
配当金の支払額	△1,058	△1,329
その他	△11	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,169	△1,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503	611
現金及び現金同等物の期首残高	21,583	20,043
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,180	20,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,183	17,007	14,070	43,260	20	43,281
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	5	114	121	6	128
計	12,184	17,013	14,184	43,382	27	43,409
セグメント利益	1,673	2,579	1,626	5,879	10	5,890

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,879
「その他」の区分の利益	10
全社費用(注)	△531
四半期連結損益計算書の営業利益	5,358

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,334	19,363	14,566	47,264	21	47,285
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	9	106	115	4	119
計	13,334	19,373	14,673	47,380	25	47,405
セグメント利益	1,899	3,334	1,367	6,601	10	6,612

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,601
「その他」の区分の利益	10
全社費用(注)	△509
四半期連結損益計算書の営業利益	6,103

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。